

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県備前市 備前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド透	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
34,265	7,566	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

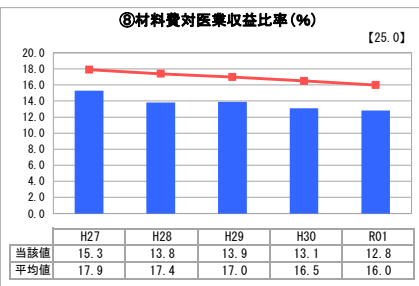
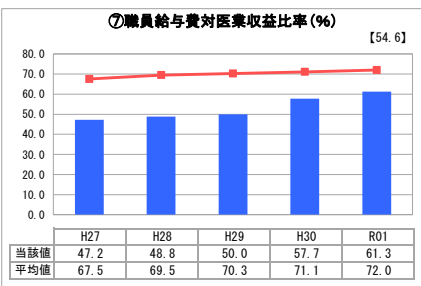
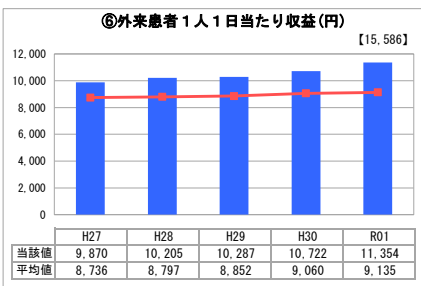
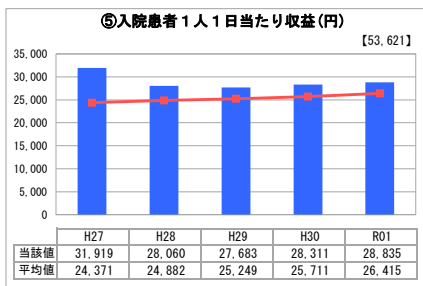
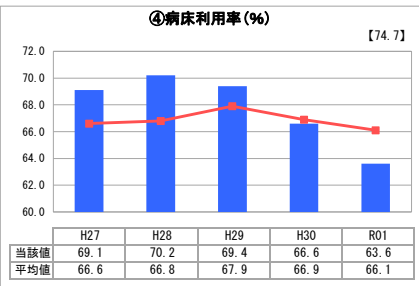
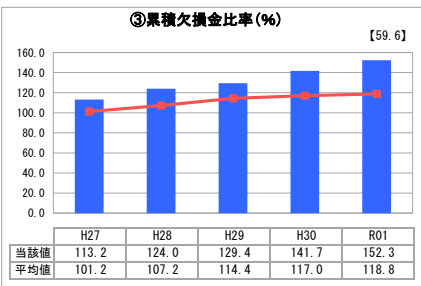
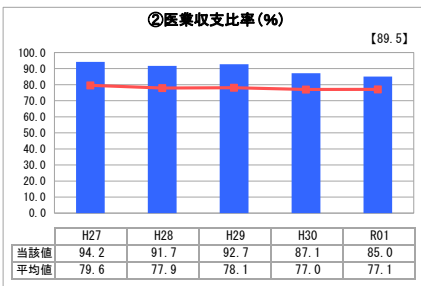
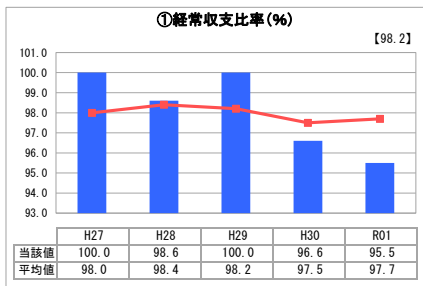
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
46	44	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
46	44	90

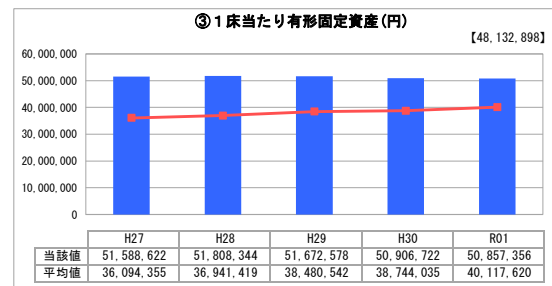
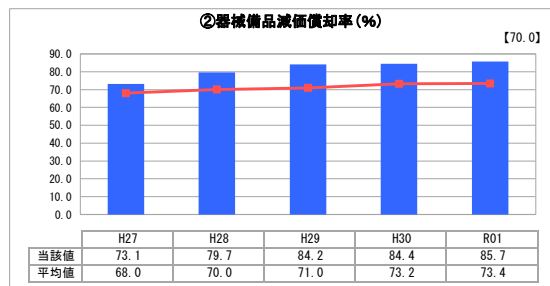
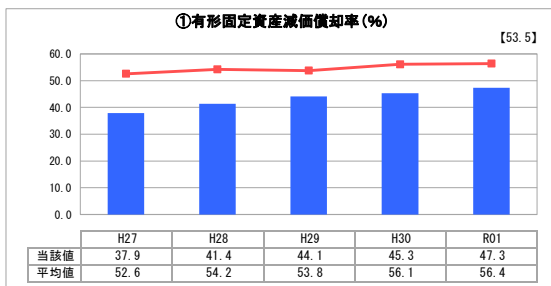
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

自治体病院として、行政、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供するとともに、国保直診の目指す地域包括ケアの観点から、回復期を担う地域包括ケア病床、慢性期を担う療養病床の設置、リハビリテーションの充実、人工透析医療（16床）や各種健診事業のほか、介護保険事業として、介護老人保健施設（80床）、通所リハビリテーション事業（定員30人）、居宅介護支援事業、訪問看護ステーション事業も展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②医業収支比率では類似病院平均値を上回っているものの、①経常収支比率では下回っている。④病床利用率は類似平均以上に低下しており、赤字額の前年度以上に上回っている。赤字額は前年度以上に上回っており、③累積欠損金比率は、上昇の一途である。患者増加が今後も見込めないならば、経営形態や機能の抜本的な見直しを検討する必要がある。

⑤⑥の入院外来それぞれの1人1日当たり収益は、地域包括ケア病床の設置や透析医療をしている影響で、類似病院平均値より若干高い傾向にあるが、患者数が減少しているため、収益額も減少した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平成23年度の病院建て替えから年数を経るにつれ、徐々に高くなってきている状況である。

②は全国、類似平均ともに下回っているが、②器械備品減価償却率は、全国、類似平均とも高くなっており、医療機器類の老朽化が進行している。しかし頻繁な機器更新は経営を圧迫するため、必要最低限に留め、定期的な保守で適切に使用できる状態を保持することに努めている。

③1床当たり有形固定資産は、類似病院平均値より高くなっているが、併設の老人保健施設の償却資産が含まれているためであり、病院単体では36,815,871円と、平均値を下回っている。

全体総括

市の人口は年々減少しているが、利用者を選択される病院となることで、患者数の確保をしていく必要がある。

具体的には、地域包括ケアの観点から、慢性期を担う療養病床、回復期を担う地域包括ケア病床やリハビリテーションを充実させるとともに、地域の診療所や隣接地域の急性期病院との連携、協力を図り、地域医療全体の充実に取り組みことで、利用者のニーズに応え、頼られるように努めることが重要である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。